

**公益財団法人第五福竜丸平和協会**  
**平成 29 年度事業報告**  
**平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日**

本年度は船体建造 70 年の年を迎え、船を顕彰し戦後の一時期木造船により遠洋漁業に従事した歴史と木造船建造を支えた技術についての企画・展示及び資料収集を行った。  
ビキニ水爆実験・第五福竜丸被災事件と核問題・核被害を伝える事業をおこなった。

## 1 公益目的事業

### ①展示館業務

当年度、第五福竜丸展示館は定められた休館日を除き、308 日間開館した。

来館者総数は 111,667 人、うち団体見学数 787 団体 25,648 人（内訳：小学校 71 校 3,600 人、中学校 187 校 11,023 人、高等学校 45 校 1,281 人、大学を含むその他の学校 82 校 1,239 人、その他の団体 402 団体 8,505 人）、一般来館者 86,019 人。

見学者に対して、学芸員・ボランティアが逐次解説し、より理解が深まるよう見学をサポートしたほか、学生のレポート課題等への対応も行った。また企業の新人研修、大学の見学・授業などに対応した。協会役員も関わる高校・大学の授業関連での見学学習は 30 校余あった。

第五福竜丸の存在意義をより広報するべく、「第五福竜丸だより」を 6 回発行した（各回 1000 部発行し、館内外で配布）。企画展のチラシ配布（3 回、合計 1 万部）。江東区観光情報、東京メトロ広報誌、都バス車内広報、新聞等に情報を掲載した。

海外からの来館者では観光案内ウェブサイト“Atlas Obscura” “Japan Travel” を見て訪ねてくる観光客、大学・研究者（環境社会学、地質学等）などの来館増が目立った。

吹奏楽曲「ラッキー・ドラゴン～第五福竜丸の記憶」（福島弘和・作曲）を演奏する学校の来館も多く、同曲を演奏するオーストラリアの高校生 70 名が来館した。

### ②企画展・展示替等

船の建造 70 年を記念し、2 回の企画展を開催した。

#### 第 1 回企画展

6 月 17 日～10 月 9 日「この船をつくろう 船大工・匠の技」

・7 月 23 日【船大工 匠の技を視るつどい】

伊勢市大湊、強力造船所の船大工・木村九一氏の実演、元工場長・吉岡雄毅氏の講話ほか。学生など 100 名参加。

#### 第 2 回企画展

11 月 3 日～3 月 25 日「この船を描こう 森の福竜丸・男鹿和雄と子どもたちの絵」

・11 月 5 日【この船を描こう・オープニング記念会】男鹿和雄氏、吉永小百合氏挨拶。福島弘和・鈴木英史・記念演奏。絵を描いた子どもたち 20 名など 100 人が参加。朝日新聞、東京新聞（共同配信）、日刊スポーツ、サンケイスポーツなどで記事が掲載され、SNS 等でも話題となった。

・3 月 25 日【子どもワークショップ】樹木医・玉木恭介氏、画家・男鹿和雄氏とともに植物観察と工作教室の実施。50 人参加。

【参考】前年度企画展「この船を知ろう 第五福竜丸建造 70 年の航跡」2016 年 11 月 19 日—2017 年 3 月 26 日）

### ③船体・エンジン保存の取り組み

9 月 19 日 文化財保護・修復専門家からなる船体等保存検討委員会を開催、12 月 11 日～13 日 現形状の 3D スキャナー計測実施した（大浦工測定株式会社）。

8 月 8 日 エンジン清掃と錆抑制のためタンニン酸塗布作業。

#### ④市民講座・研究会

- ・3・1ビキニ記念のつどい(2018年2月24日) 「未来へと伝えたい～核の被害を乗り越える」大石又七(第五福竜丸元乗組員)、竹峰誠一郎(明星大学准教授)、ブルック・タカラ(マーシャル諸島エニウエトク環礁)発言。日本青年館会議室、100名参加。
- ・8月12日 研究会「アレックス・ウェラスティン(スティーブン工科大学助教)を囲んで」13名参加。
- ・12月7日 研究会「ジューン・ロレンゾ(弁護士、ナバホ&ナプロ・プエブロ)を囲んで」15名参加。
- ・12月27日 研究会「キャッスル研究会」 中原聖乃(専門委員) 市田真理(学芸員) 15名参加。

#### ⑤展示館ボランティアの会

- 1月8日 総会・学習会
- 6月16日 学習会「エニウエトク環礁の現在」(報告・安田和也)「マーシャル諸島ビキニデー」(報告・市田真理)
- 6月16日 自衛消防訓練の実施

#### ⑥巡回展等への協力

- 朝霞市平和パネル展(7月26日～8月17日)
- 門真市ピースフェスタ(7月28日～7月29日)
- 浜松・戦争体験を聞く会(8月5日～8月6日)
- 西宮市原爆展(8月16日～8月21日)
- 東村山市平和展(8月21日～8月29日)
- 奈良・郡山中学校(9月13日～9月18日)
- 静岡・清水勤労者協議会(9月22日～9月30日)
- 浦安市(9月22日～10月21日)
- 石川県健生クリニック(10月1日～10月13日)
- 焼津・東益津小学校(10月16日)

#### ⑦来館者・来館校を増やす取り組み(普及・広報活動)

- ・ホームページ・Facebookによる発信 展示館近況やイベント情報を掲載した
- ・東京メトロ「メトロガイド」(2017年10月号)、江東観光協会「お出かけガイド」、都営交通「都営バスイベントポスター」で施設紹介・イベント案内が掲載された。
- ・学芸員による出前授業(約30回)、市民講座等で紹介した。

#### ⑧展示館経年劣化に対する改修の取り組み、要請活動

- 展示館建物の改修について、都と協議を重ね、状況掌握と補修箇所の検討がすすめられ、2018年7月より2019年3月予定で改修工事が計画されている。

#### ⑨その他の協力活動 関係者の活動(講演・出前授業等)

- ・山本義彦代表理事 久保山忌諸行事で挨拶(第五福竜丸で平和を語る集い 久保山忌句会 東京原水協のつどい 築地にマグロ塚を作る会) 3・1ビキニデー久保山愛吉墓前祭挨拶等
- ・高原孝生理事 第9回国際平和博物館会議(4月10日～13日 ベルファスト)
- ・大石又七評議員 6月4日・9月23日 築地にマグロ塚を作る会講演会(夢の島マリーナ) ・杉並区平和事業(座・高円寺)で特別発言 ・3・1ビキニデー集会(焼津市)で特別発言 ・映画「いのちの岐路に立つ～核を抱きしめたニッポン国」(監督・原村政樹 製作・矢間秀次郎)に出演。 ・真相報道バンキシャ(日本テレビ)・静岡第一テレビ報道等
- ・学芸員・専門委員の出前授業・執筆等

三重県伊勢市、和歌山県串本町、鹿児島県奄美大島、北海道、静岡県、山形県などの学校、市民講座で講演。平和博物館市民ネットワーク全国交流会、国連 unitar「次世代のための意見交換会」に参加。大学（中央大学、明治学院大学、立教大学、恵泉女学園大学）での授業。

#### ◆特記事項

4月 5日 東京地域婦人連合会の見学学習のつどい  
4月 8日 高知県室戸市にて漁具の寄贈を受ける  
4月 12日 ドイツより日独友好協会メンバーが来館  
4月 26日 大石又七氏証言映像撮影（高知県・吉良川中学校より修学旅行生に証言）  
5月 6日 平和行進出発式で協会挨拶  
5月 17日 イリノイ大学生（U.S.）23名来館  
5月 20日 トンプソン・リバーズ大学生 15名来館（カナダ）  
5月 21日 デンマーク、アメリカなど在住の日本史研究者ら来館  
6月 2日 ボードウィン大学（U.S.）スタディツアー14名来館  
6月 4日 築地にマグロ塚を作る会学習会参加者見学会 90名来館  
6月 17日 ビキニ・ふくしまプロジェクト見学会 48名来館  
7月 1日 港区平和青年団 14名来館  
7月 4日 テレビ朝日・大石又七氏インタビュー撮影  
7月 17日 ネパールフェスタ参加者 30名来館  
7月 22日 新日本スポーツ連盟主催反核マラソン 出発式で協会挨拶  
7月 23日 企画展オープニングイベント 中央大学、明星大学生ほか 100名参加。中京テレビほか取材  
8月 3日 『ダークツーリズム入門』（イーストプレス）井出明氏インタビュー・撮影  
9月 23日 日本テレビ取材（真相報道バンキシャ）  
9月 24日 東友会（東京の被爆者の会）慰霊祭に安田事務局長出席  
9月 27日 東海テレビ撮影  
10月 4日 産経新聞 船内撮影  
10月 6日 国連軍縮フェローシップ・プログラム参加者（19か国）  
12月 3日 オーストラリア・エルサムハイスクール吹奏楽チーム 74名、ICRP 関係者、ベテランズ・フォー・ピース関係者ら来館  
12月 11日～13日 船体の3D計測実施（大浦計測）日塔和彦評議員ほか船体保存検討委員メンバー立ち合い

#### ◆取材協力

ケン・サイトー「現代ニッポン出来事図鑑」（KADOKAWA）  
『ダークツーリズム入門』（イーストプレス）  
メトロガイド「東京探訪」（日刊工業新聞社）  
NHK三重 東海テレビ 伊勢での安田和也・木村九一氏講演など  
テレビ朝日 ザ・スクープスペシャル「ビキニ水爆実験 63年目の真実」（8月6日OA）  
日本テレビ 真相報道バンキシャ 「金正恩が太平洋で水爆実験声明？」（9月24日OA）  
テレビ東京 「日経スペシャル 未来世紀ジパング マーシャル諸島」（11月27日OA）  
David Pepeik （Bulletin of the Atomic Scientists 寄稿）  
毎日新聞（コラム）北海道新聞（コラム） 福島民友新聞 ヤフーニュースほか  
映像提供 「世界遺産のクイズ図鑑」（学研）「中学道徳教科書」（東京書籍）ほか

#### ◆関連報道

・第五福竜丸建造 70年を切り口に、さまざまな報道があった。  
中国新聞 オピニオン欄「『古稀』の第五福竜丸 反核とともに技術伝えよ」佐田尾信作論説主幹  
日本経済新聞 探訪サイエンス（3月9日）

船内撮影 朝日新聞（7月14日）共同配信 東京新聞（9月19日）ほか 産経フォト（11月9日）  
静岡第一テレビなど

- ・吹奏楽曲「ラッキー・ドラゴン～第五福竜丸の記憶」（福島弘和作曲 2009年）に関連した報道。  
テレビユー福島「ラッキードラゴン」特集（2月27日OA）  
中国新聞コラム「潮流」（3月13日）

◆行政庁との連絡等

- ・夢の島公園協議会・毎月一回定例（都東部公園緑地事務所、オリンピック・パラリンピック工事事務所、夢の島熱帯植物館、東京スポーツ文化館など）
- ・新木場連絡会・隔月開催（夢の島公園・新木場地区鉄道会社、企業との情報交換）  
夢の島公園内各種工事進捗に関する打合せ（随時）

## 2 その他の事業（収益事業）

ミュージアムグッズの製作と頒布

世界の核実験年表ポスター

缶バッジ

男鹿和雄・ポストカード「森の福竜丸」「海の福竜丸」「焼津港」「びん玉」「六分儀」

男鹿和雄・一筆箋「びん玉」

男鹿和雄・複製画「森の福竜丸」「海の福竜丸」

## 3 法人の管理運営

当年度に以下の通り諸会議を開催した

2017年5月7日 理事会

2017年5月27日 定時評議員会、理事会

2018年3月11日 理事会、展示館改修及び休館に関する理事・評議員説明会

賛助会員の異動は以下の通りである。

	2017年4月1日	2018年4月1日
賛助会員（個人）	327	307
賛助会員（団体）	57	54
ニュース購読会員	77	83